

中央小では、朝の時間は脳がリフレッシュされており、集中力が高まっているので、その時間の学習活動は、言語能力を育むために非常に重要な時間であると位置づけている。朝の会の時間を8:25～8:35、朝学・朝読の時間を8:35～8:50としている。

朝学（月曜以外）

朝学の内容

○100マス計算、文章読解プリント（5分）

プリントの左側に計算、右側に読解問題をのせたプリントを短い時間で取り組んでいる。

100マス計算は、毎日タイムを計ることで児童が目標を持って取り組めるように工夫している。

文章読解問題は、短い時間でも読むことができるように、あえて学年を下げた問題を選んで取り組んでいる。

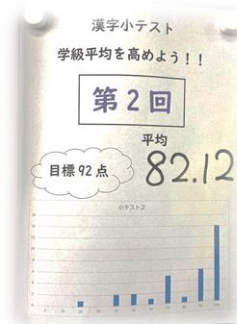
○新出漢字の学習・漢字小テスト（10分）

2文字から4文字の新出漢字を学習している。

指書きや空書き、なぞり書きを行い、漢字の定着が進むように工夫している。

漢字の小テストもこの時間で行っている。

漢字の小テストは行う日を事前に伝えておくことで、テストに向けて、自主学習できるようにしている。また、クラスの平均点の目標を決め、現状値を伝えることで、学級の仲間と協力して、漢字の学習に取り組むことができるような工夫もおこなっている。



朝読（月曜）

月曜は、漢字の学習ではなく、毎週朝読を行っている。

月曜朝読のメリットとして次のようなものがあげられる。

- ・週の始まりを読書で過ごすことで、落ち着いて学習環境を整えられ、気持ちを整え、安心して学校生活に入ることができる。
- ・「読書＝静かで前向きな時間」として位置づけることで、穏やかなスタートが切れる。
- ・週末に生活リズムが乱れがちな児童にとって、月曜朝の読書が生活リズムを戻すきっかけになる。
- ・担任がこの時間を使って、休み明けの子どもの様子を静かに観察することができる。

朝読以外にも、給食の配膳までの待ち時間や教師がいないときなどには読書をして過ごすことを中央小の行動目標として子どもたちに示し、学校生活の中のいろいろな場面で読書をする時間を設けられるようにしている。

レインボールーム（読み聞かせボランティア）

月に一度、地域の方や保護者の方で構成された読み聞かせボランティアの方から、朝読の時間に絵本の読み聞かせをしてもらっている。

レインボールームの絵本では、季節に合わせた絵本やその時の学習に合わせた絵本を選択して、読み聞かせを行っている。様々なお話を聞くことができるので、読書の世界を広げることに役立っている。

